

【政治】

11 日～16 日：唐軍書記率いる大連代表団、マレーシアとスリランカを訪問

唐軍書記率いる大連代表団は 11 日から 16 日にかけてマレーシアとスリランカを訪問し、各国の政財界関係者らとの交流を行った。代表団は各地で大連市の紹介や企業誘致等一連の活動を行い、大連企業の更なる海外進出と「一帯一路（海と陸のシルクロード）」政策への参画を推進した。（19 日付大連日報 1 面）

19 日～20 日：省人代常務委員会法執行検査グループ、大連市における就職促進条例の執行状況に対する検査活動を実施

19 日から 20 日にかけて、遼寧省人代常務委員会党組の李峰書記（兼常務副主任）をリーダーとする省人代常務委員会法執行検査グループが大連を訪れ、市公共職業紹介センターや市起業トレーニングセンター等を視察し、大連市における「遼寧省就職促進条例」の執行状況に対する検査活動を行った。市人代常務委員会の里景瑞主任らが検査活動に同行した。（21 日付大連日報 1 面）

20 日：大連市党委「改革を全面的に深化させる」指導グループ第 8 回会議開催

20 日、大連市党委「改革を全面的に深化させる」指導グループは第 8 回会議を開催し、各改革プロジェクトチームの活動報告に対する聞き取りを行った。会議はさらに「市の党・政府機関に所属する企業の切り離し及び制度改革政策に関する実施方案」を採択し、今後重点的に行うべき改革事項についての研究を行った。（21 日付大連日報 1 面）

【経済】

16 日：肖盛峰市長、韓国の金章洙駐中国大使と会見

16 日、肖盛峰市長は韓国の金章洙駐中国大使一行と会見した。肖盛峰市長は会見上、庄河市に設立した循環経済モデルパーク、金普新区に設立したグローバル電子商取引総合実験区及び中韓貿易合作区の状況等を紹介するとともに、今後の韓国との経済貿易協力の拡大を期待する旨述べた。金章洙大使はこれに対し、中韓 FTA の枠組みの下、今後大連市と韓国の交流・協力が更に多くの成果をあげることが望むと述べた。（17 日付大連日報 1 面）

19 日：唐軍書記・肖盛峰市長、インテル株式会社の楊叙副総裁と会見

19 日、唐軍書記と肖盛峰市長は、インテルの楊叙副総裁（兼インテル中国有限公司総裁）一行と会見し、双方は今後更に協力関係を深めていくことについて意見を一致させた。楊叙副総裁は、インテルの大連工場は 2010 年から操業を開始していること等に言及した。（20 日付半島晨报 A12 面）

19 日：唐軍書記、肖盛峰市長、奇瑞自動車の尹同躍董事長と会見

19 日、唐軍書記と肖盛峰市長は奇瑞自動車の尹同躍董事長一行と会見した。唐軍書記と肖盛峰市長は会見上、大連市は自動車及びその関連部品産業の発展を大変重視しており、同社の大連工場は大連自動車産業の発展に対し重要な作用を果たしたと評価し、大連市は今後とも同社の大連における発展を支持し、大連自動車産業全体の実力を高めていきたいと強調した。（20 日付半島晨报 A12 面）

市政府、第3四半期までの労災事故の発生件数を20件と発表

先日市政府の開催した労災事故の防止と安全生産に関する会議において、第3四半期までに大連市の企業（工業、鉱業、商業、貿易業に従事する企業）において発生した労災事故の発生件数は全部で20件であると発表された。発表によれば、このうち15件が解決済みで、19社の企業が経済的処罰を受け、合計で442万円の罰金が支払われた。また、行政処罰を受けた責任者は72名で、総額で65.4万円の罰金が支払われた。72名のうち党紀による処分を受けた者は2名、行政処分を受けた者は15名となっている。（21日付大連晩報A7面）

21日：市党委員会、区・市・県・開放先導区経済工作座談会を開催

21日、市党委員会は区・市・県・開放先導区経済工作座談会を開催し、各区・市・県・開放先導区による第3四半期までの経済活動報告に対する聞き取りを行い、当面の経済情勢を分析し、今後の施策について研究した。（22日付大連日報1面）

21日：インテル、同社大連工場に対し55億ドルの追加投資を行うことを発表

21日、インテルは同社大連工場に対し55億ドルの追加投資を行い、当該工場をグレード・アップさせ、世界最先端の不揮発性メモリ（電源を供給せずとも記憶を保持できるメモリ：当事務所注）製造基地へと発展させていく計画を北京にて発表した。当該メモリの製造は2016年末から正式に開始される予定。21日の正式発表に先立ち、19日にインテル代表団が大連を訪問した際、大連市政府との間で当該プロジェクトの契約式が行われていた。（22日付大連日報1面）

22日：唐軍書記、中糧グループの寧高寧董事長及び中国海運グループの許立栄董事長と会見

22日、中央企業である中糧グループと中国海運グループが大連市の北良港を主な中継基地とする食糧運搬船の定期運航を決定したことを受け、唐軍書記は中糧グループの寧高寧董事長及び中国海運グループの許立栄董事長一行と会見を行った。唐軍書記はこれまで両社が大連市の経済発展のために果たしてきた貢献を高く評価し、今後大連を北東アジアの国際海運センター、国際物流センターとして発展させていく上で両社の協力が不可欠であり、両社と長期に亘る協力関係を維持し、共に発展していきたいと述べた。（23日付大連日報1面）

【社会・文化】

「海洋權益軍事展」が大連科技館にてスタート

大連市民、特に青少年の海洋權益に対する意識を高めるため、大連科技館は「海洋權益軍事展」の開催をはじめとする一連の活動をスタートさせた。当該展覧は大連科技館にて10月22日まで無料公開される。（17日付大連日報3面）

大連市の高齢化、全国平均の約2倍の速度で進行中

20日、大連市民政局が発表したデータによれば、大連市の高齢者人口（大連市戸籍を持つ60歳以上の人口）は2014年に5.8%増加し、全国平均の約2倍の速度で高齢化が進んでいることが分かった。高齢者人口は2014年末の時点で約130万人に達し、大連市の総人口約594万人のおよそ22%を占める結果となった。また、高齢者人口は2020年には165万人に達し、総人口の24%以上を占めると予想されている。（22日付半島晨报A19面）

【日本関連報道】

21日：北大橋、修復工事のため通行封鎖を開始

21日、大連市濱海路の北大橋が通行封鎖され、修復工事が開始された。北大橋は大連市と北九州市の友好都市関係締結を記念し1987年に建設された全長230メートル、幅12メートルの橋で、老朽化による腐食や振動等が目立っていた。修復工事は2016年5月に完了する見込み。

(22日付半島晨报 A05面)

21日：大連市人代の里景瑞主任、東京都大田区議会代表団一行と会見

21日、大連市人代の里景瑞主任は、大連市を訪問中の東京都大田区日中友好議員連盟の高瀬三徳会長（元大田区議会議員）一行と会見した。里景瑞主任は会見上、高瀬三徳会長は大連市民の古き良き友人であり、大田区は大連市の友好協力のパートナーであると述べ、特に大連市人代常務委員会と大田区議会が「友好協力関係意向書」にサインして以来、双方の交流は更に深まり、各分野における協力関係促進のために積極的な作用を果たしたことを強調した。高瀬三徳会長はこれに対し、大田区議会は今後とも積極的に大連市との各分野における交流と協力を促進していくと述べた。

(22日付大連日報 7面)

(注) 10月17日～23日の大連日報、半島晨报、大連晩報、新商報の記事をもとに作成。